

平成 29 年
(2017)
5月1日

No.
185

THE AICHI PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS



第26回 愛知県理学療法学会

Index

代表理事コラム

- 2 大規模災害時に理学療法士ができること
- 3 公益社団法人 愛知県理学療法士会 部局だより
- 5 海外で活躍する理学療法士
- 9 愛知県理学療法士会・愛知県理学療法学会主催の研修会・その他の研修会

代表理事コラム

大規模災害時に理学療法士ができること

公益社団法人 愛知県理学療法士会 代表理事 鳥山 喜之

平成23年の東日本大震災では、甚大かつ様々な被害が発生した。被災地の復興支援のため本会は、同年11月から12月にかけて、宮城県石巻市渡波地区を中心に、会員16名を派遣した。現地では、仮設住宅・避難場所・在宅での個別相談や、生活不活発病予防のため集会場での介護予防教室の開催などを行った。

近い将来、愛知県も南海トラフ地震にみまわれ、甚大な被害が持たされる可能性を指摘されている。

当会では被災時に自分たちの身を守り、県民を支援するシステム作りのために、平成24年度より災害対策委員会を設置、研修会の企画・開催や他の医療・福祉の職種と災害医療について学び、また、疾病予防や環境調整など、理学療法士の強みを活かした災害対応の構築化と地域と連携できる体制づくりを進めている。

理学療法とは、病気やけが、高齢や障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し、身体と心の両面から機能回復・維持・予防を目的に行われ、また、日常生活を改善するための指導や社会生活のための福祉用具、住宅環境、在宅ケアの調整なども含まれる。

一般的には、災害発生直後が「超急性期」と呼ばれ、

その後急性期、亜急性期、慢性期、静穏期という経過を辿る。我々理学療法士は、仮設住宅などの被災者の方に対して介護予防、住宅環境の整備などを支援することが多い。

先日、私の勤務先で「認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード浦野愛常務理事」に、昨年の熊本地震での被災地における現状と活動の講演していただいた。

一時避難場所等の公民館や体育館には、一般市民だけでなく、乳幼児から要介護者等も避難されている。理学療法士による避難場所における身体障害者や要介護者の方へのトイレの設置方法などの環境整備や誘導の仕方など助言は、感染予防にも役立った事など、今回の講演を聴き、改めて震災直後からの理学療法士の役割を切に痛感した。

我々は、理学療法という専門性を生業にしている事への自覚と責任をもって、医療機関や介護施設・事業所のみならず、地域への貢献をしていく役割を果たさなければならぬ。

代表理事会務報告(平成29年1月1日～3月31日)

1月14日(土)	三士会会議
1月22日(日)	新人教育プログラム研修会
1月30日(月)	トライデントスポーツ医療看護専門学校教育課程編成委員会
2月11日(土)	第12回愛知県医療ソーシャルワーカー学会開会式
2月14日(火)	愛知県在宅医療推進会議
3月 3日(金)	星城大学リハビリテーション学院卒業式
3月 4日(土)	中部リハビリテーション専門学校卒業式
3月 5日(日)	第26回愛知県理学療法学会学術大会
3月 7日(火)	平成28年度第2回名古屋市在宅医療・介護連携推進会議
3月 9日(木)	東名古屋附属リハビリテーション学院卒業式
3月10日(金)	あいち福祉医療専門学校教卒業式
3月11日(土)	愛知医療学院短期大学卒業式
3月14日(火)	平成27年度トライデントスポーツ医療看護専門学校卒業式
3月15日(水)	東海医療科学専門学校
3月20日(月)	星城大学学位授与式



職 能 局 **業務推進部**
部長 石田 悦二

職能局業務推進部では今年度も引き続き他部局と連携しながら、会員皆様への情報提供と更なるスキルアップのお役に立てるような事業運営に努めてまいります。

まず研修会事業として、昨年開催し大変好評でした『リハビリテーション専門職の職域と社会保障制度』の第2弾、また人材育成事業として『介護予防ならびに地域包括ケア推進リーダー導入研修』など、準備を進めております。『介護予防ならびに地域包括ケア推進

リーダー導入研修』につきましては、多くの皆様に受講していただけるように、各2回開催いたします（受講資格が限られておりますのでご注意ください）。

詳細は、本ニュースの研修会情報および県士会ホームページをご覧ください。会員皆様はもちろんのこと職場や関連施設のリハビリテーション専門職および多職種の方々もお誘い合わせのうえ是非奮ってご参加ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



社 会 局 **健康福祉部**
部長 竹内 有三

健康福祉部では公益事業を通して、地域の保健・福祉・教育・健康増進の向上及び貢献していくことを目的に活動しております。今年度も下記記載の行事を通してスポーツ選手や指導者・地域在住の高齢者や障がい者、リハビリテーションに関わる多くの職種の方々に、少しでもご参加頂けるような活動（公益事業）を継続していく予定です。

多くの会員の皆様と、事業を通して一緒に活動することで、理学療法士が社会に貢献できるように尽力させて頂きたいと考えております。会員皆様方のご助力を受け賜れますようお願い申し上げます。

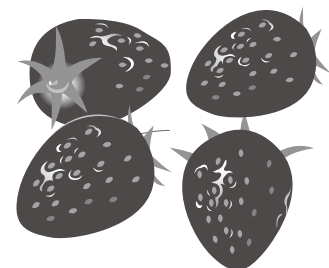
【今年度事業予定】

- スポーツ傷害予防講座
名古屋東ブロック、尾張北部ブロック、尾張東ブロック、東三河ブロックで開催予定
- 高校野球メディカルサポート
春季大会、夏季大会、秋季大会、東海大会
- 地域リハビリテーション推進事業
リハビリテーション関連職種及び介護職種への研修会等
各事業の詳細は、追って県士会ニュース、HP等でお知らせ致します。ご興味ある会員の方はぜひご参加下さい。



社 会 局 **ニュース編集部**
部長 後藤 亮吉

ニュースは年4回（5月、8月、11月、2月）発行いたします。皆様の活動を士会ニュースでご紹介ください。また、各部局・委員会の活動報告、研修会や求人情報等の案内の確認にお役立てください。



常設委員会 白書委員会
委員長 西山 知佐

白書協力委員募集のお知らせ

今年度から3年にわたり、第4版となる愛知県理学療法白書の作成に入ります。

白書を作成するにあたり、会員の皆さまの協力を募りたいと思います。下記をご覧になり、奮ってご応募下さい。意欲のある方のご協力をお待ちしております。

- 活動期間：2017年6月～2019年9月（予定）
- 内 容：会議の議事録作成、会議費計算、アンケート

ト立案、データチェック等

- 募集人数：若干名
- 申し込み先：名南病院 事務長室 西山 知佐
chisa_nishiyama@meinan.or.jp
メールのタイトルは「白書申し込み」としてください。
- 申込必要事項：
氏名、所属、連絡先アドレス、志望動機や抱負などのコメント
- お問い合わせも上記へお願いします。
メールのタイトルは「白書問い合わせ」としてください。



特設委員会 災害対策委員会
委員長 西山 知佐

災害医療に関する講演会のお知らせ

2月のニュースでお知らせした通り、今年度からは災害現場や防災活動等で活躍できる人材育成を目指していきたいと考えております。前半では昨年の熊本地震の被災地で活動された方の話を聞き、後半では避難所運営ゲームを行いながら、避難所での活動について考えてみたいと思います。

皆さまのご参加をお待ちしております。
(内容が一部変更になる可能性がございます。詳細は後日士会HP等でご確認下さい。)

- 日 時：平成29年7月8日（土）
10：00～17：00（受付開始9：30）
*前回ニュースで日程の誤記がございました。
この場を借りましてお詫び申し上げます。
- 会 場：中部リハビリテーション専門学校
- テーマ：避難所での活動の在り方について考える
- 講師・研修内容（予定）
 - ◆「熊本地震での活動支援報告」
中橋 亮平先生（鵜飼リハビリテーション病院）

塚田 晋太郎先生
(中部リハビリテーション専門学校)

- ◆「避難所運営ゲーム（HUG）の概要と演習」
 - 対象者：医療・介護職あるいは医療・介護施設等で勤務されている方
 - 参加費：無料（なお準備都合上、事前申込が必要です）
 - 研修会終了後は、顔の見える関係づくりのため、懇親会を予定しています。
 - 申し込み方法：
 - ① 氏名（ふりがな）、② 所属、③ 職種、④ 懇親会への参加の有無をご記入の上、メールでお申し込み下さい。定員になり次第、締め切らせていただきます。
E-mail: shinsai-apta@hotmail.co.jp（担当：加藤）
お問い合わせもこちらへお願いします
 - 理学療法士会の会員は、以下の履修ポイントを取得できる予定です。
新人教育プログラム：60分1本以上の受講で、C-7社会貢献
認定・専門：180分すべての受講で、7-b 教育・管理（管理・運営）、7-d 教育・管理（専門）
- ※会場へは公共交通機関をご利用ください。

海外で活躍する理学療法士

スリランカで地域の理学療法士

～スリランカの人々の生活について～

アーユボーン。こんにちは。

スリランカの人々の生活は、宗教と強く結びついており、生活にとっても大きく関わっています。地域により各宗教の比率は変わりますが、スリランカ全土では、仏教、ヒンズー教、イスラム教、キリスト教の順に信仰者が多いです。仏教徒は全国民の7割を占め、私の活動している村々では9割以上が仏教徒です。郡事務所や村では、仏教に関連したイベントが多く、また人々の自宅には仏陀の像やポスターがあったり、満月の日には多くのお寺へ参拝に訪れたりします。仏教には輪廻転生の教えがあり、仏教徒の中には、障害は前世での悪い行いが原因であると考える人々もおり、障害のある家族を地域に出さず家に隠してしまうことがあります。障害と宗教や文化は、スリランカの生活に、強く繋がっています。

私が活動する地域はスリランカの田舎です。崖の上に

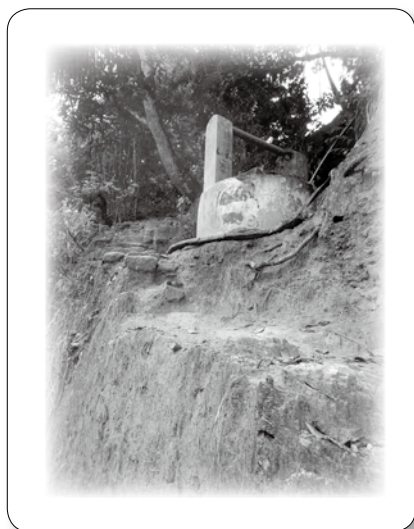
自宅があったり、凸凹の道があったり、そして自宅内は小さな段差があり、トイレやシャワーは屋外に設置されていることが多いです。始めの頃、私はそのようなバリアがとても不便だろうと思っていました。しかし、村の人々はバリアだと思っていません。なぜなら、人の手助けが常にあるため、バリアでないのです。スリランカの特に田舎では、今でも人と人の繋がりがとても強く、介助が必要な障がい者や高齢者がいれば、家族だけでなく、親戚や近所の人も手助けし合っています。きっと昔の日本もそうだったのではないかと想像します。

不便はあるが、地域の人々が支え合って生活しているスリランカと、便利でサービスも整っているが、地域の人々の繋がりが希薄になりつつある日本。スリランカでの活動は日々考えさせられることがたくさんあります。

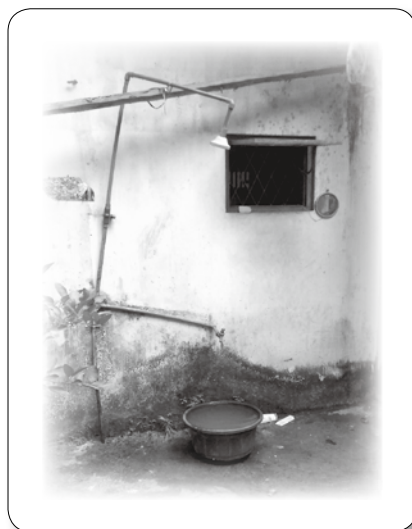
写真①：障がい者の自宅があるのは崖を削って作られた階段の先

写真②：シャワーは屋外

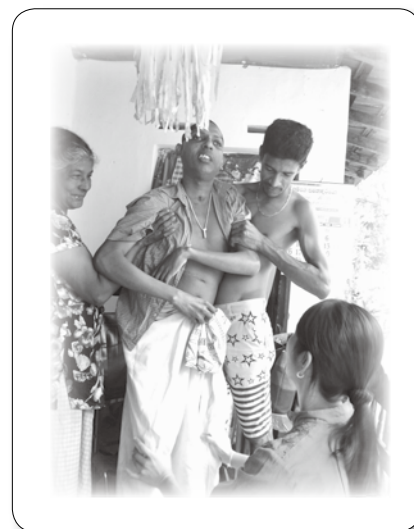
写真③：家族や親戚の誰かが常にいる環境



①



②



③

第26回愛知県理学療法学術大会報告

大会長 石田 和人

3月5日、ウィンクあいちにて、「理学療法の本質と未来予想図」をテーマに、第26回愛知県理学療法学術大会を開催致しました（参加者数：1,018名、一般演題：144題、内2題取り消し）。本テーマに基づき、講演、シンポジウム、一般演題等を企画しました。特に、特別シンポジウムにおいては、「理学療法の本質と未来予想図 ー理学療法を創造するー」と題し、名古屋市立大学元学長、同名誉教授の西野仁雄先生および名古屋大学医学部元教授の辻井洋一郎先生をお招きし、ご講演ならびに討論の機会とさせて頂きました。さらに、「理学療法の国際化と未来予想図」、「理学療法新規分野の未来予想図？保険点数化の実現に向けて?」、「神経系理学療法の未来予想図 ～基礎から臨床へのトランスレーション～」と題した3つのシンポジウム、また、特別企画として「理学療法と障がい者スポーツの未来予想図 ～リオから東京～へ」と題した講演を企画致しました。

また、本学会の会員による学術発表も充実させ、特に若手の理学療法士が積極的に臨床や研究活動に取り

組む土壌を作り、次世代の理学療法の更なる活性化を支援したいと考え、若手発表者を対象とした「若手セレクトセッション口述」のセッションを設け、本学会役員に審査委員として同席頂き、本学術大会の開催中に、今年度新設した「学術大会新人賞」の表彰を実施致しました。この企画を通じて、大変活発な質疑応答も行なわれました。また、一般演題の学術レベルも向上傾向にあり、これまでの学術集会では、やや難しいと考えられていたポスター発表の自由討論なども活発かつ円滑に行われていた印象でした。

本学術大会を成功裏に終えることができましたことは、ひとえに会員諸氏のご理解とご協力によるもの、心より深く感謝申し上げます。日本理学療法学術大会の分科会化が進む中、この愛知県で行われる本学術大会が、今後、会員諸氏にとって、より身近な学会であり、若手会員の育成を図り、本学会の未来予想図を描く上で、重要な役割を果たすことのできる貴重な機会として、今後も発展することを望むものであります。



H28年度生涯学習部症例検討会の報告

NPO法人 愛知県理学療法学会
生涯学習部 部長 松田 文浩

平成29年2月19日(日)に藤田保健衛生大学におきまして生涯学習部主催の症例検討会を行いました。24題の演題登録を頂き、活発な議論ができました。その中で、特に優れた発表に対して表彰しました。今後も生涯学習部主催の症例検討会を開催いたしますので、ぜひご参加ください。次回の演題募集詳細につきましては、NPO法人愛知県理学療法士学会ホームページにて随時お知らせ致します。

受賞者

○岩佐 麻未先生…上飯田リハビリテーション病院
「片麻痺患者に対する短下肢装具の検討」

- 浅井 裕介先生…国立長寿医療研究センター
「片側TKA術後、反対側TKAに向けて歩行の早期獲得を目指した一症例」
 - 伊藤 陽子先生…国立長寿医療研究センター
「多発外傷による長期臥床が原因で低栄養を呈した症例のADL向上を目指した介入」
 - 伊藤 憲生先生…吉田整形外科病院
「骨折を伴わない足関節開放性脱臼の一症例～歩行時足関節前方部痛に着目して～」
- 4名の先生方おめでとうございます。またご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。



愛知県士会・愛知県学会・協会主催の学会・研修会

平成29年度 NPO法人愛知県理学療法学会 第1回研修会のご案内

日 時：平成29年6月3日（土）
14：00～17：10（受付開始13：30）

会 場：名古屋市立大学病院中央診療棟 3階大ホール
テーマ：「人工関節周術期リハビリテーション」

プログラム：

講演1：14：00～15：30

片岡亮人先生

（名古屋整形外科 人工関節クリニック PT）

「人工股関節のリハビリテーション」

講演2：15：40～17：10

加古誠人先生

（名古屋大学医学部付属病院 PT）

「人工膝関節のリハビリテーション」

申 込：不要（直接会場へお越しください）

参加費：無料

取得単位：新プロ：c-2 運動器

履修ポイント：認定領域：運動器

専門分野：運動器理学療法

お問い合わせ

名古屋市立大学病院リハビリテーション部 山下

TEL：052-851-5511（病院代表）

◎平成29年度 業務推進部 第2回研修会のご案内

【主 催】公益社団法人 愛知県理学療法士会 職能局業務推進部

【新プロ認定単位および履修ポイントについて】

・新人教育プログラム：

第1部（C-7 士会活動・社会貢献）

第2部（C-7 士会活動・社会貢献）

第3部（C-7 士会活動・社会貢献）

【日 時】平成29年7月16日（日）

10：30～16：30（受付開始10：00）

【会 場】あいち福祉医療専門学校（金山総合駅南口から徒歩5分）

【テーマ】『リハビリテーション専門職の職域と社会保障制度』

第1部（10時30分～12時00分）

医療保険制度の概要とリハビリテーション

講師：鳥山 喜之 先生

（公益社団法人愛知県理学療法士会 代表理事）

第2部（13時00分～14時30分）

障がい児・者における制度とリハビリテーション

講師：松野 俊次 先生

（岡崎市こども発達センター）

第3部（14時40分～16時10分）

介護保険制度とリハビリテーション

講師：藤田 正之 先生（医療法人仁医会）

【内 容】新人から中堅、管理職に従事されている方まで幅広い世代のリハビリテーション専門職を対象に、自分の従事している以外の職域についても理解を深め、さらにそれぞれの制度を関連付けて理解できるよう、各制度の仕組み、リハビリテーション専門職として知っておきたいポイント、トピックスなどを、解りやすくご講義いただきます。

【対 象】理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、養成校学生 等

【定 員】80名（先着順、定員に達し次第締め切り）

【参加費】無料 ※ 第1部～第3部を通してご参加ください。

◎当日、愛知県理学療法士会会員の方は会員カードをご持参ください。

【申し込み】当日準備の都合上、愛知県理学療法士会ホームページ（<http://www.aichi-pt.jp/>）よりお申込みをお願いいたします。

【申し込み期間】平成29年4月10日（月）
～平成29年7月10日（月）

【問い合わせ先】

医療法人孝慈会 老人保健施設ラ・ファミリア

リハビリテーション課 石田 悦二

TEL（052）384-5411

◎平成29年度 介護予防推進リーダー・地域包括ケア 推進リーダー導入研修のご案内

【介護予防推進リーダー導入研修会】

以下のいずれか1日のみの受講です。

<第1回>

日 時：平成29年8月20日（日）
10時～16時（受付9時30分）

<第2回>

日 時：平成29年10月1日（日）
10時～16時（受付9時30分）
会 場：（両日共）あいち福祉医療専門学校 講堂
（金山総合駅南口より徒歩5分）
定 員：各日程80名（先着順、定員に達し次第締め切り
とさせていただきます）

【地域包括ケア推進リーダー導入研修会】

以下のいずれか1日のみの受講です。

<第1回>

日 時：平成29年9月24日（日）
10時～16時（受付9時30分）

<第2回>

日 時：平成29年11月5日（日）
10時～16時（受付9時30分）
会 場：（両日共）あいち福祉医療専門学校 講堂
（金山総合駅南口より徒歩5分）
定 員：各日程80名（先着順、定員に達し次第締め切り
とさせていただきます）

【申し込み方法（介護予防推進リーダー・ 地域包括ケア推進リーダー共通）】

受講申し込みは、日本理学療法士協会マイページより
行ってください。

※受講資格：

- ①新人教育プログラムが終了している事。
- ②e-ラーニングの受講もしくは受講免除申請がされて
いる事。

※注意事項

- ①本導入研修には、各リーダー登録をされているこ
とが前提となります。

②本導入研修は、事前に「受講申し込み」がなければ
受講できません。

③「受講申し込み」は日本理学療法士協会マイペー
ジより実施してください。

④本導入研修の受講は、新人教育プログラムを終了
されている方で、なおかつe-ラーニングの受講又
は免除申請をされている方に限ります。

詳しくは、マイページの地域包括ケア推進リーダー
制度をご確認下さい。

⑤日本理学療法士協会マイページにて各自申請・
受講状況の確認をして下さい。

詳しくは公益社団法人愛知県理学療法士会ホーム
ページの『地域包括ケア』をご確認下さい。

【問い合わせ先】

公益社団法人 愛知県理学療法士会 事務局

E-mail : office@aichi-pt.jp

「地域包括ケアシステム推進リーダーについて」とし
てお問い合わせ下さい。ご連絡をお願いします。



その他の研修会

◎3学会合同標準徒手医学講習会

日 時：2017年6月11日（日）

内 容：運動器疾患に対する徒手的評価、徒手的治療方法を系統的に習得していきます。

機能解剖や、評価方法、治療方法についても学んでいきます。

原因組織が関節か、神経、筋かを鑑別し、これに対するコンビネーション治療テクニックを習得していきます。

講 師：安藤 正志 先生

（法政大学教授 運動器専門理学療法士）

会 場：さかえビル会議室A

受講費：5,000 円（税込）参加費は当日会場にてお支払いください。

定 員：40名

申し込み方法：以下、講習会ホームページの「申し込み」からお願いいたします。

<http://rigakusp.ws.hosei.ac.jp/index.html>

締 切：定員に達し次第、終了いたします。

主 催：理学療法科学学会 日本スポーツリハビリテーション学会 標準徒手医学会

その他：詳細は当会ホームページでも確認できます。

<http://rigakusp.ws.hosei.ac.jp/index.html>

よろしくお願いいたします。

◎自信のつく肉眼解剖

日 時：平成29年6月18日（日）10時～16時15分：

基礎から学ぶ股関節・膝関節

平成29年8月27日（日）10時～16時15分：

基礎から学ぶ下腿・足関節

内 容：関節の基本的な構造や各関節に関連する筋群の解説はもちろんのこと、筋組織や結合組織についても組織学的観点から解説していただきます。また、各関節の臨床的症状や運動療法との関連性についても講演いただく予定です。

講 師：荒川 高光 先生

（神戸大学大学院保健学研究科 リハビリテーション科学領域 准教授）

会 場：国際医学技術専門学校 理学療法学科

（愛知県名古屋市区則武新町3丁目1-46）

受講費：各10,000円

定 員：各50名（先着順）

申込先：インターネットにて「MKPT研究会」と検索し、「講習会情報」からお申し込みください。



←バーコードリーダーのある方は、こちらからお申し込み下さい。

締 切：先着順

主 催：形態学と運動学に基づく理学療法研究会（MKPT研究会）

◎TRK 運動学習セミナー1

日 時：2017年7月2日（日）13:00-17:00

内 容：運動学習は理学療法、作業療法、言語聴覚療法の臨床にとってなくてはならない概念です。しかしながら、卒前・卒後教育のカリキュラムにはほとんど組み入れられず、学ぶ機会が少ないのが現状です。本セミナーでは、運動学習の基本的な概念を単に受け身的に学ぶのみではなく、研究テーマを考え、臨床業務に組み込める形で実践していくために能動的に学ぶことが可能です。

内 容

- 1) 運動学習の基本的な理論
- 2) 臨床で運動学習の概念を使用する方法
- 3) 運動学習ワークショップ：自分のリアルな臨床場面にに基づき、実現可能な運動学習理論に基づくアプローチ方法、研究方法を考える。

実際に、臨床業務を行いながら研究し論文まで書いているメンバーや研究方法論に長けた研究者にサポートを受けながら、あわよくば研究草案まで作ってみませんか？

講 師：平井達也 先生（いしい外科三好クリニック、東海臨床リハビリテーション研究会代表）

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち

1305 (特別会議室E)

受講費：5,000円 (税込)

参加費は当日会場にてお支払いください。

定員：30名 (先着順)

申込先：東海臨床リハビリテーション研究会メール
tourinrehaken@gmail.com

件名：201707運動学習セミナー 1 参加希望

本文：①氏名 (よみがな) ②所属先
③年齢 ④職種 (経験年数)

締切：定員に達し次第、終了いたします。

主催：東海臨床リハビリテーション研究会

その他：詳細は当会ホームページでも確認できます。

<http://tourinrehaken.wix.com/trrkhp>

◎臨床に生かせる触診セミナー

日時：平成29年7月2日 (日) 10:00 ~ 16:00

内容：i. 解剖の大切さを実感する：解剖学的な骨のイメージが必要なことの実感

ii. 触診が上達する5つのコツ：・肩甲骨の解剖・触診・肩峰・下角

iii. 腸骨の解剖・触診：・PSISの触診・腸骨稜の触診

iv. 脊柱のランドマークの見つけ方

講師：国際統合リハビリテーション協会
認定インストラクター 岡 裕光 (理学療法士)

会場：貸ダンスホール名古屋A室 (石原ビル6階)
名古屋市中村区名駅南1-3-14石原ビル6階

受講費：7,900円 (税込8,532円)

定員：40名

申込先：IAIR東海 国際統合リハビリテーション協会
ホームページもしくは iair.tokai@gmail.com
アドレスまで



* 全額返金保証付きです

URL：<https://iair-member.jp/toukai/html/products/detail/76>

締切：定員になり次第締め切り

主催：国際統合リハビリテーション協会

◎第24回日本赤十字 リハビリテーション協会研修会

日時：平成29年7月8日 (土) 13:00 ~ 17:00

9日 (日) 9:30 ~ 12:30

内容：肩・膝関節疾患の病態把握と治療

講師：勝木 秀治 先生

(関東労災病院 中央リハビリテーション部主任
理学療法士)

今屋 健 先生

(関東労災病院 中央リハビリテーション部主任
理学療法士)

会場：名古屋第二赤十字病院

(名古屋市昭和区妙見町2番地9)

受講費：8,000円

定員：70名 (予定)

申込先：日本赤十字リハビリテーション協会ホームページ
(<http://jrcra.sakura.ne.jp/O3kensyuukai.html>)

締切：平成29年7月3日 (月)

主催：日本赤十字リハビリテーション協会

(日本理学療法士協会生涯学習ポイント：5ポイント付与)
(申請中)

◎第62回 愛知県糖尿病 療養指導研究会 学術講演会

日時：平成29年7月23日 (日)

13:00 ~ 16:20 (開場12:30)

内容：テーマ「糖尿病透析予防指導における各職種の役割」

講演1. 薬剤師の立場から

講演2. 看護師の立場から

講演3. 管理栄養士の立場から

講演4. 臨床検査技師の立場から

特別講演. 糖尿病透析予防指導について

講師：講演1.

JCHO徳山中央病院 副薬剤部長 益成 宏

講演2.

野村病院 糖尿病看護認定看護師 川畑愛子

講演3.

大垣市民病院 管理栄養科係長 岩崎文江

講演4.

岡崎市民病院 臨床検査科 夏目久美子

特別講演.

海南病院 糖尿病・内分泌内科代表部長

山守育子

会場：名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟3階講堂（名古屋市昭和区鶴舞65：JR中央線「鶴舞」駅を下車し、名大病院口改札を出て徒歩約5分）

受講費：愛知県糖尿病療養指導研究会会員 無料

その他参加者 1,000円

定員：200名

申込先：事前に申し込みの必要はありませんので、参加ご希望の方は当日会場まで直接お越し下さい

主催：愛知県糖尿病療養指導研究会

共催：公益社団法人 愛知県臨床衛生検査技師会

その他：○糖尿病療養指導士の方に対しては、認定更新のための研修会として2群1単位が認定される予定です。

○問合せ先：愛知県糖尿病療養指導研究会事務局
医療法人社団喜峰会東海記念病院 藍川智津
(mail: aichicde2003@yahoo.co.jp)、または医療法人三仁会あさひ病院リハビリテーション科 横地正裕 (TEL: 0568-85-0077)

電話：052-332-4171

メールアドレス：info@kido-medi.com

ホームページ

<https://www.kidojyuku-pt-powerup.com/>

名古屋市中区富士見町13-19 3F (303)

締切：2017年8月18日（金）

主催：きど塾／せぼね研究会

◎小児イントロダクトリ講習会

日時：2017年10月7日（土）13:00～17:30

10月8日（日）9:00～17:30

10月9日（月）9:00～13:00

（時間数15時間）

内容：

講義 ボバース概念の概要、姿勢・運動制御理論の概要

発達理論、胎児の運動、上肢と手の発達

実技 発達段階を応用した治療技術

治療デモンストレーション

講師：真鍋 清則

（ABPIA基礎講習会インストラクター、東生駒病院PT）

中野 尚子

（ABPIA基礎講習会インストラクター、杏林大学教授）

砂古口 雅子

（ABPIA専任講師、森之宮病院OT）

会場：公立陶生病院

〒489-8642 愛知県瀬戸市西追分町160

受講費：15,000円（宿泊費、食事代等は含まれていません）

定員：40名（参加対象者：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）

申込先：bobathtosei@gmail.com

公立陶生病院 中央リハビリテーション部

日比野 幹成 宛

締切：2017年7月14日（金）

主催：アジア小児ボバース講習会講師会議（ABPIA）

◎腰椎椎間板ヘルニアに対する徒手療法

日時：2017年9月10日（日）

9:30～12:15 予定

脊椎の解剖生理 → 脊椎の重要ポイント触診 → 実技

講師：木戸健一郎 及び スタッフ数名

会場：名古屋市内で調整中

受講費：8,000円

定員：30名

申込先：きど塾／せぼね研究会

その他：申し込みについて

電子メールにて申し込みください。電子メール以外の申し込みは受付できません。

電子メールは、パソコンからのメールを受信できるように設定してください。設定されていない場合は、返信メールをお送りすることができません。

件名に『小児イントロダクトリ講習会の申込』をつけて、①氏名、②職種、

③臨床経験年数（何年目）、④勤務先と所属部署、

⑤連絡用メールアドレス、

⑥連絡用電話番号をメールにて申し込んでください。

受講決定通知：2017年7月31日（月）の予定

◎株式会社gene主催セミナー①

◎姿勢と運動連鎖

～変形性股関節症に対する治療戦略～

日 時：2017年5月21日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内 容：【講義概要】

股関節は身体を中心に位置し、下肢帯と下肢を連結する機能的にも非常に重要な関節であり、それがゆえに様々な局面の中で「可動性・安定性・協調性」が要求される関節です。変形性股関節症は進行性の疾患であり、その多くは器質的な問題を抱えております。

しかしながら、器質的な問題だけで病状が進行するわけではなく、そこに関節の不安定性や代償動作、肥満、筋の硬さなどが伴うことで、筋の過活動や防御性収縮を引き起こすような機能的変化と、軟骨変性、関節変形が進行するような器質的な変化が起こり、痛みを誘発するといった負のループに転じてしまい、更には心因的な変化をももたらしてしまいます。そのような複雑な要因が背景にある疾患に対し、我々セラピストは、その背景を慎重に紐解かなくてはなりません。

介入のポイントはメカニカルストレスからの回避と、過活動の原因解明が優先となりますが、進行性の疾患に対しては、その病態に応じて視

点を変えなくてはなりません。クライアントの訴えに的確に応えるために、進行期別にみた理学療法戦略を理解し、具体的な評価、介入が出来るようになることをセミナーの目的としています。

【プログラム】

午前1 立ち上がり動作におけるHip Joint strategy

2 股関節の構造特性～適合曲面とルーズバックポジション

午後3 変形性股関節症に対する理学療法戦略

3-1 変形性股関節症の介入ポイント

3-2 過活動の原因解明

3-3 メカニカルストレスからの回避

※プログラムは追加・変更になる場合があります。

講 師：湯田健二先生

（海老名総合病院医療技術部リハビリテーション科科長・理学療法士）

会 場：IMYホール4階大会議室

受講費：12,500円（税込）

定 員：80名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー②

◎脳を理解するための基本的な

解剖学的知識と画像のみかた

日 時：2017年6月4日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内 容：【講義概要】

社会はニューロリハビリテーションへと動いています。

されど、セラピストや看護師の脳に関する卒前教育はそれに呼応していないようです。

これまで脳のシステム障害のお話を重ねてきましたが、『難し過ぎてついていけない』という正直なお声もたくさんいただきました。

ということで、脳の解剖と機能について、難しいお話ではなく、基本的なところからじっくり学んでみませんか？

その上で、脳のシステムのことを考え、その障害のアプローチについて考えていけるようにステップアップしましょう

講師：吉尾雅春先生
(千里リハビリテーション病院副院長・理学療法士)

会場：名古屋市中小企業振興会館7階メインホール

受講費：12,500円(税込)

定員：180名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー③

◎感覚・知覚障害を伴う脳卒中片麻痺者に対する
神経リハビリテーションアプローチ

日時：2017年6月18日(日)
10:00～16:00(受付9:30～)

内容：【講義概要】

中枢神経疾患の問題として目に見える問題は姿勢や運動の問題であり、感覚や知覚障害は目には見えないので、臨床においてはその出力としての運動や動作、そして姿勢から推測するしかありません。

本来、視覚や聴覚、そして手足からの触運動覚や三半規管からの迷路情報は脳にとってネコのひげのようなものであり、外界環境を探索し、適切な出力(運動や姿勢制御)をコントロールするのに不可欠なものです。

脳卒中では上行路(脊髄視床路・脊髄小脳路)の障害や皮質(感覚野・頭頂葉)の障害により入力情報が寸断及び制限されることで感覚失調や出力のコントロール不全、そしてプッシャー様症状等、様々な症状が回復の阻害因子として現れることがあります。成書でその問題について触れられているものは数多く見受けられますが、具体的にどう介入したらよいかを示している成書は見あたりません。

本セミナーでは基本的な感覚・知覚の成り立ちについて講義し、そして症例への治療動画を多用して具体的な介入例を提示します。また実演では運動療法・作業療法を行う上で重要となるダイナミックタッチ等、具体的なハンドリングのポイントを提示したいと思います。

講師：伊藤克浩先生
(山梨リハビリテーション病院リハビリテーション部副部長、日本ボバース研究会会長・理学療法士)

会場：名古屋市中小企業振興会館7階メインホール

受講費：12,500円(税込)

定員：180名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー④

◎肩関節機能障害における

関節機能解剖学的病態評価と運動療法の考え方

日時：2017年6月24日(土)
10:00～16:00(受付9:30～)

内容：【講義概要】

肩関節機能を映画に例えるならば、主演俳優に該当するのが肩甲上腕関節、助演俳優に該当するのが肩甲胸郭関節です。互いが効率よく円滑に機能することで骨頭の求心性が維持されます。

骨頭の求心性を乱す要因は様々ですが、腱板筋群(棘上筋、棘下筋、小円筋、肩甲下筋)に関する理解が必要不可欠です。少しマニアックな解剖ならびに超音波解剖画像がふんだんに出てきますが、お話しする組織は絶対に治療対象となるものばかりです。

肩甲胸郭関節の機能障害については腕神経叢症状との関連について解説する予定です。

どちらも2日目の治療実技に直結する内容となりますから、気合を入れて勉強してください。

2日目の実技セミナーではそのskillの妙を感じてください。

【プログラム】

- 1 肩甲胸郭関節機能と腕神経叢症状との関係
 - 2 肩甲胸郭関節機能はどう評価しどう改善する？
 - 3 肩関節拘縮についてマニアックに迫ります
 - 4 肩関節障害を治しきる最後の砦！肩峰下滑動機構の癒着を治す
- ※プログラムは追加・変更になる場合があります。

講師：林典雄先生

(運動器機能解剖学研究所所長・理学療法士)

会場：名古屋市中小企業振興会館7階メインホール

受講費：12,500円(税込)

定員：180名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

therapyをする人のことです。1日目の理論を踏まえた上で、そのskillの妙をどっぴりと感じてください。

【プログラム】

- 1 肩甲胸郭関節機能をどう見てどう改善するか？
- 2 肩関節拘縮についてマニアックに迫ります。part1
- 3 肩関節拘縮についてマニアックに迫ります。part2
- 4 肩峰下滑動機構の癒着をどう改善するか？

講師：林典雄先生

(運動器機能解剖学研究所所長・理学療法士)

会場：IMYホール6階第3会議室

受講費：15,500円(税込)

定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑤

◎肩関節機能障害における関節機能解剖学的病態評価と運動療法の考え方

～実技編～

日時：2017年6月25日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：【講義概要】

肩関節機能を映画に例えるならば、主演俳優に該当するのが肩甲上腕関節、助演俳優に該当するのが肩甲胸郭関節です。互いが効率よく円滑に機能することで骨頭の求心性が維持されます。骨頭の求心性を乱す要因は様々ですが、その要因を抽出するのがscience、実際に治すプロセスがskillです。肩関節障害に対して我々が行う運動療法は、必ず求心性の改善につながる必要があります。求心性の改善が疼痛並びにパフォーマンスの改善へとつながります。

当日は肩甲胸郭機能改善に始まり、肩甲上腕関節の拘縮治療に鋭く迫ります。セラピストは

◎合同会社gene主催セミナー⑥

◎認知症のある方の食べることへの対応

日時：2017年6月25日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：【講義概要】

重度の認知症のある方でも介助に気をつけるだけで食べ方が変わるとこのことを知っていますか？

認知症のある方の食事場面で起こるBPSDは実は食べ方(本当は食べさせ方)の問題が多いということを知っていますか？

認知症の有無を問わず高齢者に対しての望ましいスプーン操作としてはいけないスプーン操作の違いを説明できますか？

摂食・嚥下の研修会はたくさんありますが、スプーン操作を学べる研修会はありそうでないのが実情です。このセミナーでは実際の介助方法もたっぷり体験学習できます。

リハスタッフはもちろん介護士・看護師の方の参加も大歓迎です。

- (1) スプーン操作体験&練習
- (2) コップ操作体験&練習
- (3) 食事介助の現状と課題提起
- (4) 事例：食事介助の方法とその考え方
- (5) 事例：食事場面の工夫とその考え方（スプーン、食器、食環境、姿勢）

講師：佐藤良枝先生

（公益財団法人積善会曾我病院・作業療法士、バリテーションワーカー）

会場：ゼミナールプラザ（名古屋金山研修センター）4階第6会議室

受講費：12,500円（税込）

定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑦

◎骨折の評価と運動療法の考え方～

大腿骨近位部骨折（頸部骨折）を中心に～

日時：2017年7月2日（日）

10：00～16：45（受付9：30～）

内容：【ねらい】

大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折に対する、疫学・整形外科的な診断と治療・理学療法評価・運動療法を、系統立てて理解することを目標とします。

【講義概要】

超高齢化社会を迎えるにあたり、運動器疾患に対する病院や施設の役割は、今後非常に重要となります。大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折は高齢者に起こりやすい骨折の一つであり、セラピストがかかわる可能性の高い骨折でもあります。

ともすれば、クリニカルパス・地域連携パスを遵守することに懸命になり、受傷機転、骨折型、

軟部組織の損傷状態、整復状態、合併症、全身状態、個人の状況、整形外科的な治療、セラピストとしての評価や治療法など考慮すべき点が疎かになりがちです。

本講義は、「骨折の機能解剖学的運動療法—その基礎から臨床まで—（中外医学社）」をベースに、本骨折の疫学、整形外科的な治療の考え方、理学療法評価、運動療法を学びたいと思います。

【プログラム】

午前1 大腿骨近位部の構造の理解、疫学等

2 画像所見・手術法の理解

午後3 評価法

4 運動療法

講師：松本正知先生

（桑名西医療センターリハビリテーション室・理学療法士）

会場：株式会社gene本社セミナールーム

受講費：12,500円（税込）

定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑧

◎脳のシステム障害の理解とリハビリテーション

日時：2017年7月9日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：【講義概要】

脳卒中や脳外傷などによる脳損傷患者のリハビリテーションにおいて、その病態の理解は極めて重要なことです。目の前で起こっている現象だけで障害を判断してアプローチを考えるのか、画像情報も活用して脳のシステム障害を理解しながら病態を把握するのか、両者には大きな違いがあります。脳損傷患者の可能性を最大限に引き出していくために、脳の機能解剖学は欠くことのできない基礎知識になります。脳の

システムの理解は脳損傷患者へのアプローチと学習の可能性を教えてください。

【プログラム】

1. 脳の機能解剖・復習
2. ニューラルネットワーク
3. 脳のシステム障害の理解とリハビリテーション

【本セミナーについて】

事前に『脳を理解するための基本的な解剖学的知識と画像のみかた』のご受講を推奨致します。

講師：吉尾雅春先生

(千里リハビリテーション病院副院長・理学療法士)

会場：名古屋市中小企業振興会館7階メインホール

受講費：12,500円(税込)

定員：200名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

神経難病患者における有効なリハビリテーションを行うためには、多専門職種によるチーム医療が必須です。セラピストが多専門職種チームを率いて神経難病患者を診ていくために必要なマインドやリハビリテーションの意義について講義をします。また、私達が実践している最新の神経難病におけるリハビリテーションを通して、患者さんの「前向きに生きる力」を支えていくことの重要性について学んで下さい。

【プログラム】

午前

1) チーム医療が必要となった理由と気づくこと

2) 進行性疾患のリハビリのゴールの意義

午後

3) 神経難病のリハビリテーション(パーキンソン病、ALSを中心に)

講師：寄本恵輔先生

(国立精神・神経医療研究センター病院リハビリテーション科理学療法主任・理学療法士)

会場：株式会社gene本社セミナールーム

受講費：12,500円(税込)

定員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑨

◎神経難病患者に対する進化したリハビリテーション
～チーム医療の質を高めるセラピストになるためには～

日時：2017年7月16日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：【講義概要】

現代の慢性化かつ複雑化した疾患や治療においてセラピストの関わり方でアウトカムが大きく変わります。近年、セラピストの生き方は多様化していますが、リハビリテーションの対象疾患が最も多い医療機関や地域連携という組織の中で活躍できるセラピストが求められます。

セラピストの技術云々で治すことが困難な進行性疾患や神経難病患者を目の前にした時に貴方はなにが提供できますか。明日死ぬかもしれない患者さんから「どうせ何をしても死ぬのにリハビリする意味があるの?」と言われてたら貴方はなんと答えますか。

◎株式会社gene主催セミナー⑩

◎リハスタッフのための福祉用具選定の考え方

日時：2017年7月17日(月・祝)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：【講義概要】

リハスタッフにとって、福祉用具の選定は日常的に行われる業務であるが、実際にそれら福祉用具の選定の教育を、養成校において十分な時間が確保されているとは言えない状況と思います。

今回は生き活きサポートセンターうえるば高

知の下元佳子先生に、我々リハスタッフが福祉用具選定をするための考え方とそのノウハウをご講義いただきます。

【プログラム】

- 福祉用具選定のノウハウとその考え方
- 利用者の生活から見た福祉用具選定の考え方
- 身体能力を踏まえた福祉用具選定の考え方
- 福祉用具選定の評価で大切なポイント

講師：下元 佳子 先生（生き生きサポートセンターうるば高知 代表・理学療法士）

会場：株式会社gene本社セミナールーム

受講費：12,500円（税込）

定員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑪

◎重度脳卒中者における歩行トレーニングの考え方

日時：2017年7月23日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：【講義概要】

脳卒中後の重度片麻痺により随意運動が著しく困難となった場合、歩行能力を再建することは容易なことではない。しかし、急性期には自力で自らの麻痺側下肢を前に振り出すことができないような症例でも、歩行トレーニングを経て、少しずつ麻痺側下脚が振り出せるようになり、やがて歩行能力を獲得していく例は少なくない。

随意運動が困難な急性期から、歩行能力の再建を目指して、どのような戦略で歩行トレーニングに取り組むべきかについて演者らの考えを提示したい。

本セミナーでは、随意運動と歩行の神経機構、ならびに、下肢装具のバイオメカニクスを解説し、また、演者らが集積したデータを提示しつつ、歩行を再建するうえで強烈なツールとなる下肢

装具を活用した歩行トレーニングの考え方について紹介したい。

講師：阿部 浩明 先生

（一般財団法人広南会 広南病院 リハビリテーション科総括主任・理学療法士）

会場：電気文化会館5階 イベントホール

受講費：12,500円（税込）

定員：150名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑫

◎症例で学ぶ 脳のシステム障害とリハビリテーション

日時：2017年7月30日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：【講義概要】

本講義の基礎編となる『脳のシステム障害の理解とリハビリテーション』で学んだ神経線維の繋がり、つまり「脳のネットワーク」が障害された患者さんの画像をどのように理解するのか、その診方のポイントは何か、将来的な可能性はどうか、そしてそのアプローチはどのように行うのか、などの説明を、症例をもとに具体的に説明します。

【本セミナーについて】

本セミナーは『脳のシステム障害の理解とリハビリテーション』の内容をもとに 講義を進行しますので、必ず受講をお願い致します。

講師：吉尾 雅春 先生

（千里リハビリテーション病院 副院長・理学療法士）

会場：株式会社gene本社セミナールーム

受講費：12,500円（税込）

定員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑬

◎骨折の評価と運動療法の考え方

～橈骨遠位端骨折を中心に～

日 時：2017年8月6日（日）

10：00～16：45（受付9：30～）

内 容：【講義概要】

橈骨遠位端骨折は、全骨折の1/6を占めるといわれるほど頻度の高い骨折で、尺骨骨折を合併することも希ではありません。また、高齢者に起こりやすい骨折の一つでもあり、急性期病院からクリニックに至るまでセラピストがかかわる可能性の高い骨折です。治療方法としては、保存療法や手術療法が選択されますが、比較的可動域制限を残しやすい骨折でもあります。特に、掌屈・背屈とも45°以上の改善に難渋された経験はないでしょうか？本講義は、「骨折の機能解剖学的運動療法—その基礎から臨床まで—総論・上肢編（中外医学社）」をベースに、橈骨遠位端骨折に対する整形外科的な治療の考え方、画像所見の取り方、理学療法評価、可動域の改善を主眼に運動療法を考えたいと思います。

【プログラム】

午前1 橈骨遠位端骨折に対する保存療法と手術療法の考え方

2 画像所見の見方

午後3 回旋の可動域改善

4 掌背屈の可動域改善と握力の改善

※プログラムは追加・変更になる場合があります。

【必要物品】実技あり：動きやすい服装（Tシャツ・ハーフパンツ等の衣服）

【本セミナーについて】

本講義は触診が基礎となります。手関節の周辺組織、特に手根骨の触診は非常に重要となりますので、予習していただきますといっそう理解が深まります。

講 師：松本 正知 先生

（桑名西医療センター リハビリテーション室・理学療法士）

会 場：株式会社gene本社 セミナールーム

受講費：12,500円（税込）

定 員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑭

◎摂食・嚥下リハビリテーション入門

日 時：2017年8月6日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内 容：【講義概要】

嚥下障害のアプローチは、その発見から始まり、嚥下機能を詳細かつ丁寧に評価することで、病態に応じた適切な訓練を実践していくことが重要です。嚥下リハビリテーションは多職種によるチーム医療であり、全ての職種が嚥下障害の基礎的知識と対処法について、一定の水準を習得しておく必要があります。本講演では、嚥下障害のアプローチに必要な基礎知識、明日から実践できるスクリーニングテスト、嚥下訓練の実際についてご紹介いたします。コメディカルスタッフを対象とした入門編ですが、最近の知見やエビデンスに基づく評価と訓練、一歩進んだ応用を加え、臨床で活躍する言語聴覚士にとってもブラッシュアップできる内容にしたいと考えています。

【プログラム】

1) 摂食・嚥下のしくみ

2) 摂食・嚥下障害の病態と症状

3) 明日から使えるスクリーニングテストと嚥下造影検査の見方

4) 間接訓練（嚥下筋に対する筋力トレーニングを中心に）

5) 直接訓練（経口摂食の進め方とリスク管理）

6) 摂食・嚥下リハビリテーションのトピックス

※座学での進行を予定しております

講師：福岡 達之 先生
 (広島国際大学 総合リハビリテーション学部 言語聴覚療法学専攻 准教授・言語聴覚士)

会場：IMYホール6階 第3会議室

受講費：12,500円(税込)

定員：70名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑮

◎COREの機能とロコモーション

～姿勢、動作の評価と体幹機能～

日時：2017年8月11日(金・祝)
 10:00～16:00(受付9:30～)

内容：【講義概要】

体幹機能は四肢の活動の基盤を提供し、随機的な四肢の運動の背景で姿勢制御を行う。本講習会では下肢関節疾患例や基本動作障害を有する症例に対する体幹機能の診方と治療アプローチについて解説を行う。

体幹機能の筋骨格系による動的安定化機構のメカニズムと、それらを制御する神経学的制御のメカニズムについての知見をもとにアプローチ方法を考えてみたい。

講師：石井 慎一郎 先生
 (神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 リハビリテーション学科教授・理学療法士)

会場：名古屋市中小企業振興会館7階メインホール

受講費：12,500円(税込)

定員：200名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑯

◎中枢神経系疾患に対する上肢機能アプローチ

～明日からの臨床に活かせる各種症状への

具体的介入を治療動画・実技練習で学ぶ～

日時：2017年8月20日(日)
 10:00～16:00(受付9:30～)

内容：【講義概要】

知識は臨床に活かされなければ意味はありません。また、臨床は知識に基づいたものでなくてはなりません。これが基本です。

臨床現場は、対象者の「今」を変えること>に苦労しています。脳血管障害者の場合、単純な反復練習では限界もあるでしょう。大切なのは、適切な運動・活動を引き起こすための基本要素として、「運動・解剖・神経学を知ること。」そして「感覚-知覚」「運動学習」は常に連動していることです。

中枢神経系疾患における上肢の症状は、多岐にわたります。肩の痛み、感覚-知覚障害、弛緩性や痙攣性症状、高次脳機能障害等、それらに対する知識としての学習と実技をみなさんと一緒に共有できたらと思います。

以前、弊社が開催致しました「成人片麻痺者における上肢機能の分析とその介入」「脳損傷対象者における上肢機能の分析と具体的介入～各種症状別へのアプローチ～」を受講された方は、「再受講割引」を適用してのご参加が可能です。

講師：山本 伸一 先生
 (山梨リハビリテーション病院 リハビリテーション部 副部長 兼 作業療法課長・作業療法士)

会場：名古屋国際会議場2号館2階 会議室224

受講費：12,500円(税込)

定員：110名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー①⑦

◎急性期・回復期における脳卒中の予後予測

～脳画像と理学所見からゴールと

治療プログラムを導き出そう～

日 時：2017年8月27日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内 容：【講義概要】

脳卒中予後予測の指標として脳画像を利用することが言われて久しく、セラピストの方々は自己研鑽に励まれていることと思います。しかしながら研修会等で得た脳画像の知識をいざ症例に使おうとしたとき、うまく活かすことができずに悩まれる方も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは症例の脳画像や動画を示しながら、予後予測と治療プログラムの立て方について皆さまと一緒に考え解説していきます。またその結果どこに辿り着いたか、生活期における身体機能と脳画像を提示し予後予測の妥当性についても検証します。受講された方が明日の臨床からすぐに脳画像を活用し、効果的なリハビリテーションを展開できるようになられることを願っています。

講 師：手塚 純一 先生

（医療法人鶴見会 さいわい鶴見病院 リハビリテーション科 科長・理学療法士）

会 場：名古屋国際会議場2号館3階 会議室234

受講費：12,500円（税込）

定 員：100名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー①⑧

◎便秘排出障害の基礎知識とその介入方法

～運動学的な考察とADL障害への介入を

含めたアプローチの考え方～

日 時：2017年8月27日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内 容：【講義概要】

リハビリテーション専門職は、排泄、特に排便について学習する機会はほとんどありません。しかし、生理的欲求である排泄は誰もが行う行為であり、しばしば課題として直面すると思われます。例えば、在宅生活への復帰を目標とした時、または在宅生活を送っている方への支援を行う際に「トイレが自分で出来れば家で看ます。」と御家族から言われたことはありませんか？

セラピストが、排便という生理的欲求に対して考えて支援することが出来れば、患者や利用者のQOL向上に役立つはずで。そうならば、生活の診方が変わると思います。排便は出ないと本人にとっての悩みになり、失禁は家族にとっての悩みにもなります。

本講では、基本的な排便の生理を学習し、姿勢の変化が直腸肛門機能を含めた骨盤底の機能にどのように影響しているのかを考え、排便についての課題を解決するために役立ててもらいたいと考えています。

講 師：槌野 正裕 先生

（大腸肛門病センター高野病院 リハビリテーション科・理学療法士）

会 場：名古屋国際会議場2号館3階 会議室232+233

受講費：12,500円（税込）

定 員：80名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：株式会社gene



Memo

A large rectangular area enclosed by a dotted grey border, intended for writing a memo.

会員の皆様へ事務局からのお知らせ

平成29年度施設代表者会議・定時総会のお知らせ

下記の日程にて平成29年度施設代表者会議・定時総会を開催しますので参加くださいますようお願いいたします。尚、詳細につきましては別途郵送にてご案内いたしますのでご確認ください。

日時：平成29年5月28日(日) 10:00～15:00(予定)

会場：TKP名古屋栄カンファレンスセンター7Fホール

新入会員募集中

新入会員手続きを随時行っております。申し込みは日本理学療法士協会ホームページより申し込みをお願いします。

今年度資格取得をされた方につきましては日本理学療法士協会新入会割引制度が適用されますので是非早めに手続きをお願いします。

登録の際には必ず所属施設及びメール配信の希望、楽天カードでの会費納入手続きをお願いいたします。

不明な点は、愛知県理学療法士会事務局又は日本理学療法士協会事務局までお気軽にお問い合わせください。

① 平成29年度会費納入について

今年度の会費納入につきまして楽天カード決済・口座振替登録の方の引き落とし日は5月29日(月)になっておりますので口座残金のご確認をお願いします。それ以外の方には4月下旬から5月上旬にかけて、順次払込票が日本理学療法士協会から届いています。期限内に納入をお願いいたします。

1年以上会費未納になりますと、会員資格の一時停止(研修会・学術大会への参加、演題登録ができなくなります)などの処置がとられ、一定期間を過ぎますと未納退会となりますのでご注意ください。未納退会となりますとこれまでの新人教育プログラム・生涯学習ポイント・専門、認定理学療法士資格等の認定資格は失効し再入会されましても復活はしません。

自動的に毎年会費の支払いができる楽天カード登録をお勧めいたします。学術大会など事前決済におきましても振り込み手数料はかかりません。登録にはお手持ちの楽天カードを登録することも可能です。楽天カードをお持ちでない会員は日本理学療法士協会マイページよりお申込み・支払設定をしていただきますと支払更新手続きも自動で可能となりますので是非ご利用ください。

② 会員情報へのメールアドレス登録及びメール通信配信登録のお願い

愛知県理学療法士会では、会員向け情報の提供手段としてメール通信の運用を実施しております。会員の皆様には日本理学療法士協会マイページよりメールアドレスの登録・メール配信希望登録をお願いします。(職場・個人どちらでも構いませんが、緊急連絡等もありますので、できる限り個人メールアドレスの登録をお願いします。また、携帯アドレスでは受信できない場合がありますのでご注意ください。)

また、今後研修会案内などにつきまして経費節減のため、メール・HPでの情報発信を中心に行うことも検討しておりますので、よろしくご協力をお願いいたします。

③ 所属先登録・変更のお願い

会員動向の正確な把握のため、所属施設をお持ちの会員の方は（可能なら非常勤の場合も）施設会員への登録をお願いします。新年度に際し、職場の異動、自宅住所等の変更があった方は速やかに日本理学療法士協会マイページより登録変更をお願いします。

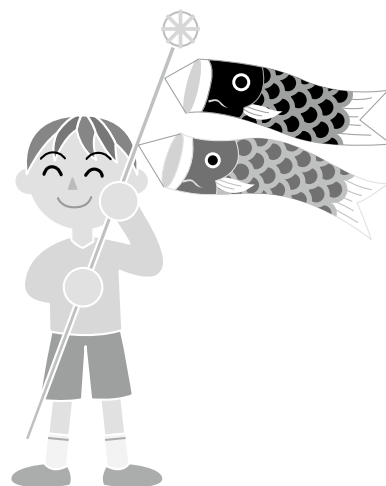
尚、平成29年2月から士会ニュースなどは個人発送となり自宅への発送も可能ですので、自宅へ郵送希望で自宅会員になられている方がお見えになりましたら郵送物発送先を自宅へ変更し、所属施設の登録をお願いいたします。

④ 一般会員からの情報提供・ニュース投稿のお願い

④ 一般会員からの情報提供・ニュース投稿のお願い

地域支援活動・災害ボランティア活動など会員の皆様の活動は多岐にわたっております。理学療法士の活躍を県民にお知らせするためにもニュース投稿をお願いしたいと思います。投稿を希望される方は事務局までご一報ください。

会 員 動 向		
(平成28年12月16日～平成29年2月28日)		
総会員数 5,262名 (29年3月10日現在)		
施設会員	施設会員 4,413名 (所属施設 793施設)	
自宅会員	自宅会員 849名	
新入会	73名	
県外異動	(他県→愛知県)	12名
県外異動	(愛知県→他県)	22名
休 会	86名	
退 会	53名	



◀ 求人情報 ▶

第2てかぼ

- 所在地 〒470-1161 愛知県豊明市栄町大根1-983
- 電話番号 0562-97-5266
- 募集人数 理学療法士・若干名
- 希望条件 常勤・パート
- 担当者 特定非営利活動法人えんとかく(担当:脇本泰志)
- ホームページ <http://entokaku.org>

リハビリホームボンセジュール植田

- 所在地 〒468-0051 愛知県名古屋市天白区植田3-801-1
- 電話番号 0120-484-174(10:00~18:00/土日祝除く)
- 募集人数 1~2名
- 希望条件 非常勤
- 担当者 株式会社ベネッセスタイルケア 機能訓練員採用担当
- ホームページ <http://saiyo.benesse-style-care.co.jp/kango/>

碧南整形外科

- 所在地 碧南市緑町2-70
- 電話番号 0566-43-5800
- 募集人数 理学療法士・若干名
- 希望条件 常勤・パート
- 担当者 (株)東名トスメック 碧南整形外科 係宛 052-733-2588(担当:鈴木)
- ホームページ <http://www.hekinan-seikei.com>

訪問看護ステーション^{ゆい}結い

- 所在地 〒497-0011 あま市七宝町安松14-21 ウイングベル七宝1B
- 電話番号 052-217-5620
- 募集人数 1名
- 担当者 若山卓也
- ホームページ <http://homenursing-yui.com>

◀ 求人情報 ▶

医療法人櫛会 ケイ・デア西城

- 所在地 〒452-0034 清須市西枇杷島町日の出31
- 電話番号 052-505-4411
- 募集人数 若干名
- 希望条件
 - ① 常勤 (8:30 ~ 17:30)
 - ② 非常勤 (9:00 ~ 12:00)休日
 - ① (日曜、他)
 - ② (日曜、他 勤務日は週4日より応相談)勤務内容：デイサービスのご利用者様のリハビリ
- 担当者 老人保健施設満天星 介護部長 服部
- ホームページ <http://keyaki-kai.or.jp>

公益社団法人
愛知県理学療法士会ニュース

No.185

平成 29 年 (2017) 5 月 1 日 発行

発行所 愛知県理学療法士会

発行者 鳥山喜之

編集者 後藤亮吉

事務局 〒461-0001
名古屋市東区泉1-12-35 1091ビル9F
TEL・FAX (052) 972-6295
〔HP〕 <http://www.aichi-pt.jp>
(携帯電話からも閲覧できます)
e-mail:office@aichi-pt.jp

印刷 不二印刷工業株式会社
